

## 環境に配慮した取り組み ～ 圏央道における環境対策 ～

NEXCO中日本では、3月25日に圏央道八王子JCT～高尾山IC間が開通します。この区間は、明治の森高尾国定公園を通過し自然環境豊かな区域であるため、経営施策の「環境・持続可能社会への貢献」として、環境に配慮した取り組みを実施しました。

### 【地域性苗木の採用】

自然環境が豊かな地域を通過するため、地域の生物多様性に配慮し、カシ類などの地域性苗木（約16,000本）による緑化（全体本数の約7割）を行いました。



### 【LED照明灯具の採用】

LED照明は、従来の蛍光灯よりも寿命が5倍長く、CO<sub>2</sub>排出の削減や廃棄物の抑制に寄与します。当該区間では、道路照明及びトンネル基本照明（高尾山TN 上下線 約430灯）に採用しています。

#### ○トンネル照明

従来：高周波点灯型高効率蛍光灯



寿命 約12,000時間

今回：LEDランプ



寿命 40,000～60,000時間

(裏面につづく)

### 【低位置照明の採用】

周囲の動植物に配慮するため、道路照明について、従来の高い位置から路面に照射するポール照明ではなく、橋梁の高欄の低い位置から路面に照射する低位置照明を採用し、道路外への光の漏れを防止しています。



当社は、今後も引き続き、自然環境に配慮した道づくりを進めていきます。